受験番号:33IPCN009

問 1.

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ターゲットを表示する検出対象画像を取得することと、
予め訓練済みの第 1 ニューラルネットワークを利用して前記検出対象画像による第 1 特徴情報を取得し、予め訓練済みの第 2 ニューラルネットワークを利用して前記検出対象画像による第 2 特徴情報を取得することと、
前記第 1 特徴情報と前記第 2 特徴情報とを結合することにより結合特徴情報を取得することと、
前記第 2 ニューラルネットワークを利用し、前記結合特徴情報に基づきターゲット検出結果を取得することと、を含むターゲット検出方法であって、
前記第 2 ニューラルネットワークは、
入力した前記検出対象画像に基づき前記第 2 特徴情報を取得するための特徴入力層と、
前記第 1 特徴情報と前記第 2 特徴情報とを結合することにより前記結合特徴情報を取得するための第 1 特徴結合層と、
前記結合特徴情報に基づきターゲット検出結果を取得するためのターゲット検出層とを備えることを特徴とするターゲット検出方法。

【請求項 2】

さらに前記第 1 特徴情報と前記第 2 特徴情報とを訓練することを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

問 2.

【先行技術】

人々の生活品質が向上するにつれて、健康の概念は少しずつ消費者らに広がっており、従って、日常生活全般にわたって各方面に「健康と安全性」が従来よりも注目されている。周知のように、体の新陳代謝には発汗が必要であり、汗水に一定量の代謝廃棄物が含まれているため、ある程度で「発汗」は「排毒」の効果を有する。しかし、汗水に無機物が大量に積まれると、皮膚の pH 値が変化し、皮膚に一定の損傷を与えることがある。

現在、織物の抗菌性を与えることは後仕上げ法で実現されており、抗菌性繊維の製造と比べその工程がより簡単かつ便利である。織物に多くの抗菌剤は使用されているが、その中のハラミン抗菌剤は、ハロゲン抗菌要素として高効果の殺菌作用を奏し、且つその化学構造の N-H と N-X 結合を変換することで、「再生可能」な独特の抗菌性を実現すること

ができ、多数の抗菌剤で仕上げた織物は抗菌性が経時的に低下してしまう欠点を克服することができる。

問3.

【発明を実施するための形態】

図1に示すように、本発明は、ベース1、ネジロッド2、固定ベース3、手動伸縮ロッド4、第1回転モーター5、第1かさ歯車セット6、第2回転モーター7、第2かさ歯車セット8、連結ロッド9、連結板10、回転盤11、剛毛ブラシ12、作業台13、シリンダヘッド本体14、排出口15を備えるシリンダヘッド加工用バリ除去装置を提供し、ベース1の内側底部には固定ロードに介して作業台13が固定的に取り付けられ、且つ作業台13の上側にシリンダヘッド本体14に係止されている。

作業原理として、シリンダヘッド加工用バリ除去装置を使用する際、まず、加工対象のシリンダヘッド本体14を作業台13上に係止し、そして第1回転モーター5を起動し、第1かさ歯車セット6に介して手動伸縮ロッド4が左右位置の間に移動することである。

第2回転モーター7を起動し、第2かさ歯車セット8に介して下側の回転盤11が回転動作をし、回転盤11の下側にある剛毛ブラシ12はシリンダヘッド本体14に対して左右に移動して加工し、シリンダヘッド本体14により全面的にバリ除去工程を行う。